

事務事業名	個別健康教育開催事業(禁煙・耐糖能異常)		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	老人保健法
政策名	総合計画 0:5	安心して暮らせる保健・医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課
施策名	計画 1:2	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名
基本事業名	体系 3:1:1:1	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	健康教育事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 12 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 [高血圧・糖尿病個別健康教育][喫煙個別健康教育] 糖尿病・高血圧予備軍の方や喫煙者を対象に、生活習慣病の発症を予防するために自らの生活習慣を振りかえり、健康増進の機会とすることを目的としている。健診受診者に参加勧奨を行なうため対象者を抽出し訪問等を実施。その他、喫煙に関しては広報・新聞折込で周知。高血圧・糖尿病個別健康教育では血液検査を実施するため公立芽室病院との事前に連絡調整を実施。講座の目的に添い、集団教育・個別相談の機会を設定している。高血圧・糖尿病個別健康教育では血液検査料として3,200円徴収。喫煙個別健康教育は無料。	全体計画	(単位:千円)
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計(A)	
正規職員従事人数		
人工		
人件費計(B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と効果	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
16年度実績 [高血圧・糖尿病]期間:4か月間 開催回数:10回 参加人数:11人 プログラム内容(血液検査4回・保健師講話1回・栄養士講話2回・個別相談3回・支援レター1回)[喫煙]通年で実施。申込者には事前にアンケートを送付。1時間程度スモーカーライザー(呼気中二酸化炭素測定器)等を用いて保健師と個別に相談・指導。禁煙1週間前・1週間後・1か月後・2か月後・3か月後に手紙とPフレット・アンケートを送付し、禁煙状況を確認する。期間途中で喫煙した場合は、その時点で終了となる。	名称 単位 ア 開催回数(プログラム回数)[高血圧・糖尿病] 回 イ ウ
17年度計画 [高血圧・糖尿病]については、生活習慣改善教室開催事業と統合して開催 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 希望者(糖尿病・高血圧予備軍の65歳未満の方) 禁煙希望者	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 参加人数[高血圧・糖尿病] 人 イ 参加人数[喫煙] 人 ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) [高血圧・糖尿病]今までの生活習慣を振りかえり、自らの健康上の問題点に気づき、それを改善するための生活習慣を獲得する。[喫煙]禁煙できる。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 血液データ等の改善率[高血圧・糖尿病] % イ 参加者の生活習慣改善率 % ウ 禁煙成功率 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活習慣病発症の予防。脳卒中等の重篤な疾病の発症予防。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 糖尿病・高血圧の罹患率 % イ 喫煙率 % ウ 脳卒中発症数 人

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	特定財源	千円	178	172	157	136		
	一般財源	千円	100	110	215	215	645	645
	その他	千円						
	事業費計(A)	千円	278	282	372	351	645	645
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3		
	人工	年間			0.0792			
人件費計(B)	千円	0	0	731	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	278	282	1,103	351	645	645	
活動指標	ア	回	12	11	10			
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	20	17	11			
	イ	人	16	5	1			
	ウ							
成果指標	ア	%						
	イ	%						
	ウ	%	37.5	80	0			
上位成果指標	ア	%						
	イ	%						
	ウ	人						

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?
国の保健事業第4次計画(平成12~16年度)の中で、生活習慣改善を通じた疾病予防対策の推進として、新たに個別健康教育が導入された。	生活習慣病発症の若年化の進行。国としても問題視しており、生活習慣改善に向けての事業展開を強化している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?	
従来、健康教育事業は集団での実施が主であった。個別健康教育は、対象者とスタッフが個別に関わりをもつことができることで、問題の明確化がしやすく個人の状況に応じた支援を実施できる点で有効である。参加者からも、生活を見直す機会となった、血液データ等が改善できた等の意見が聞かれている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか? 意図することが上位施策に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由]	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由]	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか? (拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由]	<input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因]	<input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合余地はないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業)	生活習慣改善教室との統合が可能と考えられる		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか?	<input type="checkbox"/> 貢献した ↘ 【具体的に】	<input type="checkbox"/> 貢献していない ↘	【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (工法の適正化など) 事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか? 成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 不可能	【理由】 ↘
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がある	【理由】	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 適正化余地がない

3 改革・改善方向の部(PLAN)																		
<p>(1)今後の事業の方向性(改革改善案)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>「高血圧・糖尿病個別健康教育」では、対象者の規定が細かく、タイムリーな支援に結びつけにくいというデメリットがあった。「生活習慣改善教室開催事業」と対象が重複する部分もあるため、この事業のメリットを生かして事業統合をすることで、事業費・人件費の削減が期待できる。「喫煙個別健康教育」では、年々参加人数が減少しているため、PRの手段の検討、どの対象に重点を当てて働きかけるかの検討が必要である。</p>	<p>(3)改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上			×														
	維持低下		×	×														
<p>(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか? それをどう解決していきますか?</p> <p>「高血圧・糖尿病個別健康教育」と「生活習慣改善教室開催事業」との事業統合。「喫煙個別健康教育」でのPR方法の検討、重点対象の明確化。</p>																		